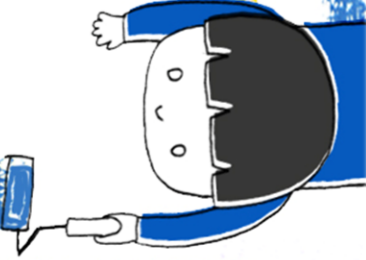





# 第5回 子ども支援 セミナー

さまざまな「生きる」課題を抱える  
子ども達の支援やケア

日時：平成28年8月19日（金）  
10:00～15:00（受付開始 9:30～）  
場所：関西福祉大学 2号館 A100大講義室 他  
共催：関西福祉大学 兵庫県立赤穂特別支援学校  
赤穂市教育委員会



スクールバスを運行しています

【JR 播州赤穂駅 ⇄ 関西福祉大学】

ご来学の際には、スクールバスをご利用ください。

■ 所要時間：約9分 ■ 運賃：無料

■ 乗車口：行き 播州赤穂駅南口3番乗り場 帰り 関西福祉大学 ロータリー

行き 播州赤穂駅発 → 関西福祉大学着				
8:50	9:19	10:17	12:12	12:42
帰り 関西福祉大学発 → 播州赤穂駅着				
12:21	12:52	14:40	15:18	16:20

お申込み方法

①QRコード ②FAX ③電話

いずれかの方法でお申し込みいただけます。

参加費：500円（当日受付にてお支払いください）

\*学生・高校生は無料

駐車場：あり（できるだけ公共交通機関をご利用ください）



お申込み・連絡先

関西福祉大学 附属地域センター

兵庫県赤穂市新田 380-3

電話：0791-46-2508

FAX：0791-46-2537

E-mail：yagi@kusw.ac.jp

担当者：八木 修司・作本 美保子



みなさまのご参加をお待ちしております

FAX 申込書 ~ご記入後、このページをFAXしてください~				
氏名	ふりがな		電話番号	
住所 ※簡単で結構です	市・町		職種 ※いずれかに○	
			教職員・施設関係者・一般 大学生・高校生・本学卒業生	
参加内容	基調講演	第1分科会	第2分科会	第3分科会
	※参加されるプログラムに○をしてください			
お弁当 ※いずれかに○	お弁当（500円）を注文		する ・ しない	
ご質問 その他				
※他にもご参加者がおられる場合は、こちらの欄へ必要事項をご記入ください。				

## 午 前 の 部【10:00~11:40】

### 基 調 講 演：「発育・発達に課題を抱える子ども達の支援やケア」

講 師：岡田 由美子

加古川中央市民病院 小児科 臨床心理士（兵庫県臨床心理士会副会長）

場 所：2号館 A100 大講義室

発育や発達に課題を抱える子どもやそれを見守る保護者や家族の支援やケアは重要です。地域の学校園や医療機関などさまざまな専門機関との連携や協働が重視されます。

講師である岡田由美子先生は医療機関を中心に出産前の母親、乳幼児やその家族の相談、小学生～大学生までに至るさまざまな成長に関する課題についてじっくりと相談援助を重ねて来られたエキスパートです。岡田先生のこれまでににおける実践活動を聞くとともに、その中で子どもや家族への支え、地域がどのように支援していくかについて、フロアの参加者も一体になって考えたいと思います。

## ランチャイム【11:40~13:00】

ご希望の方には、お弁当（500円）をご用意いたします（事前お申込みが必要）。

お弁当をご希望の方は、8月8日（月）までにお申し込みください。

周辺には飲食店やコンビニ等がございます。

③ご飲食は4号館食堂内をお願いいたします。

## 展 示 会【11:40~13:00】

お気軽にお立ち寄りください（受付横のホールで同時開催）。

- ↳ 関西福祉大学 社会福祉学部生 ゼミ報告
- ↳ 関西福祉大学 スクールソーシャルワーカー養成課程 実践活動報告
- ↳ 兵庫県立赤穂特別支援学校 教育実践報告

## 午 後 の 部【13:00~15:00】

### 第1分科会：「児童福祉施設における『性』と『暴力』に関する支援とケア」

（第1回 卒業生のフォローアップ研修〔児童分野〕）

講 師：兵庫県立清水が丘学園 主任心理治療士 中村 有生

支援員（社会福祉学部9期生） 鍋島 沙織

関西福祉大学 社会福祉学部 八木 修司

場 所：1号館 211 教室

児童福祉施設で暮らす子ども達の健全育成に関して、とくに憂慮されるのは「性」や「暴力」の問題です。情緒障害児短期治療施設である兵庫県立清水が丘学園の取り組みを中心に各施設の支援やケアについて議論したいと考えています。この分科会は本学卒業生のフォローアップ研修を兼ねていますが、さまざまな児童福祉に関わる方のご参加を希望いたします。

## 第2分科会：「教育保育の現場における障害のある子どもへの配慮」

講 師：ひょうご発達障害者支援センター 橋本 美恵  
姫路市教育委員会 育成支援課 中川 靖敏  
司 会：関西福祉大学 発達教育学部 米倉 裕希子  
場 所：1号館 218教室

2016年4月から障害者差別解消法がスタートし、障害のある子どもへの「合理的配慮」が求められるようになりました。しかし、今までとどう違うのかまだまだ見えてこない現状があります。それよりも、障害がある、ないにかかわらず、発達にばらつきや差がある子どもたち一人ひとりに合った具体的方法をもっともっと知りたいといった声もあります。

まずは、保育の現場で、これまでの配慮の実績、保護者のニーズ等をお聞きします。次に、教育現場では合理的配慮に対してどのようなニーズがあり対応しているのか具体的な話をお聞きします。

「障害のある子どもに特別な教育保育を」から、「障害のある子どもの教育保育をすべての子どもたちに」という『インクルーシブ教育』へつながることを期待し、共に話し合いたいと思います。

## 第3分科会：「ADHD児とその周辺の子どもの理解と支援」

講 師：兵庫県立赤穂特別支援学校 大久保 圭子（企画者・話題提供者）  
ひょうご発達障害者支援センター 河本 恵津子（企画者・司会）  
大和大学 教育学部 福田 崇徳（話題提供者）  
井上 和久（指定討論者）

場 所：1号館 217教室

落ち着きがない、気が散りやすい、衝動的に行動してしまうなどにより、トラブルが絶えない、活動を最後までやり遂げられないなどの状態や、授業中ぼーっとしている、忘れ物が絶えないなどの状態により、集団への適応や学業に支障を来している子どもの背景に ADHD 傾向がある場合があります。

本分科会では ADHD に関する基本的なことから最新の情報を共有し、および発達障害者支援センター、特別支援学校や小中学校の取組について話題提供します。そしてそのような子どもへの適切な支援や配慮のあり方について参加者の方々と考えます。教育全般にかかわる方、保護者の皆様はじめ、関心のある方、ご参集ください。

